

令和 6 年 10 月中学生議会一般質問答弁要旨

■ デマンド交通について

○乗降ポイントについて

乗降ポイントの設置に当たっては、国土交通省、千葉県、バス会社、タクシー会社、警察などの関係機関で構成、地域の交通手段の確保や利便性の向上などの協議を目的とした「富里市地域公共交通会議」にて、新設・廃止の条件を定めている。

乗降ポイントの新設の条件としては、「既存バス路線の停留所を含む乗降ポイントの間隔が 300 メートル以上であり、かつ、多数の利用が見込まれる停留所であること」や「事前にバス会社、タクシー会社の同意を得ること」としている。

デマンド交通については、乗降ポイントに対する市民ニーズを把握し、富里市地域公共交通会議に提案するなど、今後も、デマンド交通を一層充実させ、利用促進を図るとともに、市民の皆様の生活に密着した、持続可能な地域公共交通として定着できるよう努めていく。

■ 公共交通機関のバスについて

○現状について

全国的に、運転手不足等の理由から路線の廃止や運行本数の減少が大きな社会問題となっているが、本市においては、今のところ路線の廃止や減便はありません。

しかしながら、特に路線バスについては、日常生活に欠かせない生活交通手段であることから、バス会社に対してバスの運行本数を増やしていただけるよう要望を行っておりますが、路線の維持・拡大に向けた運転手の確保が今後の大きな課題だと伺っている。

そこで本市では、令和 6 年度から「富里市公共交通確保維持支援金」により、新たなバスやタクシーの運転手確保できるよう支援し。市民の日常生活に必要な公共交通の維持を図っている。

今後も、バス会社、タクシー会社、デマンド交通請負会社と連携しながら運転手の確保に向けた、支援に取り組み、バス路線の維持、拡大による地域公共交通の充実を図っていく。